

2021年度の保全管理活動

【目次】

1. 2021年度の保全管理活動計画	P2
2. つばさ北小学校	P3
3. 桶川西高校	P4
4. 東京デザイン専門学校	P5
5. 2021年のマーケットリサーチの方針	P9
6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動	P10

【ご注意】

本資料は、生態系保護の観点から生物の位置に関わる情報などは非表示としています。
ご了承下さい。

1. 2021年度の保全管理活動計画

●現時点の活動予定は以下の通りです。

今後もマーケットリサーチの展開にあわせて見直しをしていきます。

- つばさ北小学校 : 校内および現地での環境学習を年間10時間予定（現地3～4回）
- 桶川西高等学校 : イベントへの協力要請
- 東京デザイン専門学校 : 講義内容調整中（講義6月～7月）
- A高校 : イベントへの協力要請
- O市教育委員会 : 市内の理科教員が集う「理科研究部会」での情報発信（5月）
- S研究会 : 調査会開催に向けた調整（5月下旬・10月）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
協働・連携	つばさ北小学校		●：環境学習① 12日(水) 予備日14日(金) ：環境学習②		●：環境学習③ または9月		●：環境学習④				●：環境学習⑤ または2月		
	桶川西高校	29日(祝・木) 川島はるかぜフォー ク：科学部協力依頼						23日(土) 秋イベント ：科学部・放送部協力依頼	23日(祝・火) 川島町農業商工祭 ：科学部協力依頼				
	東京デザイン専門学校		オリエンテーション		成果発表	表彰式		23日(土) (予備日24日(日)) 秋イベント：成果反映					
	NPO・民間企業等					15日：(公財)サイサン 環境保全基金 助成申請〆切		適宜実施					
マーケットリサーチ	O市教育委員会		●：理科研究部会										
	A高校							適宜実施					
	S研究会		●：調査会開催					●：調査会開催					
	その他							適宜実施		8～10日 ：エコプロ2021			

2. つばさ北小学校

- 3月5日に協議会、事務局が学校を訪問して、次年度に向けた調整を行いました。その結果、令和2年度に引き続き、中池での環境学習の実施や、学校で荒川の在来種を育ててもらう取り組みを行いたい。次年度の4年生は1クラスで17人。
- 4月の町のバス予約は終了しているので、現地見学は5月以降に開始してほしい。5月は12日（水）14日（金）を確保しているのので、この2日間で現地活動を検討してほしい。また、全校集会は新型コロナウイルス感染拡大対策の一環で、未だ実施できていない状況なので、学年単位でできることにしてほしい。
⇒調整の結果、2021年度の実施内容を検討しました。

荒川の草花を育てようプロジェクト

- 2016年度よりプロジェクト開始。荒川における外来植物の抑制と景観形成を目的に、荒川にもともと生育していた在来の草花の育成、たねを収穫するプロジェクトです。この一連の取り組みを通して、児童に地域の自然である「荒川」を守り育てる大切さを体験的に学習する機会を提供します。

2020年度の連携状況：



6月29日学校での草花の移植活動



2月24日自然再生地での
サクラソウ移植活動

2021年度の実施内容（予定）：

時期	時間	内容
5月	20分間	【環境学習①】 ■学校 ・協議会からたねの授与 ・荒川の自然やプロジェクトについて講話
5月12日 （水） もしくは 5月14日 （金）	120分間	【環境学習②】 ■自然再生地 ・自然を守る体験 ・昆虫採集 ■学校 ・荒川の草花のたね蒔き
7月 もしくは 9月	120分間	【環境学習③】 ■自然再生地 ・自然を守る体験 ・水生生物観察
9月	90分間	【環境学習④】 ■学校 ・草花の株分け・花壇への移植 ・たねの収穫のレクチャー
9～12月	随時	（休み時間や放課後などを活用し児童がたねを収穫）
1～2月	90分間	【環境学習⑤】 ■自然再生地 ・荒川の草花のたねのお返し ・サクラソウ等の移植作業

3. 桶川西高校

- 桶川西高等学校は、2018年度まで秋に実施するイベントにおいて放送部が司会としてご協力いただいた他、2019年度からは科学部がイベント実施時に出前水族館を出展いただいています。
- 2021年度も、科学部には水族館の出展及び現地でイベント時に高校生が主体となり「ペットボトルびんどろ」を用いた水生生物観察の依頼を行う予定です。

2020年度の連携状況：

- かわじま輪中の郷ウォーキング、川島町農業商工祭への科学部による水族館展示を依頼していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いイベント中止となりました。
- 2020年10月18日秋イベント「親子で楽しくエッグハント」への出展を依頼。科学部には出前水族館の出展を、放送部には司会として、ご協力いただきました。

2020年度の科学部の水族館展示及び放送部司会の様子 「親子で楽しくエッグハント」：



科学部による水族館展示



放送部による司会

2021年度の依頼内容（予定）：

- 運営事務局よりヒアリングを実施した結果、「本年もよろしくお願ひします」の旨、科学部顧から以下回答を得ております。
- 10月2日（土）文化祭の一般公開日で対応不可能
- 10月10日（日）「JR駅からハイキング」で対応予定のため予備日の対応不可能
- 10月16日（土）中間テストの前であるが対応可能
- 10月23日（土）2年生が修学旅行前であるが対応可能

⇒学校行事にあわせてイベント日程を調整する必要があります。

時期	内容
4月29日 (祝・木)	かわじまはるかぜウォーク 主催：川島町
10月23日 (土)	秋イベント「遊ぼう！学ぼう！たろうもん」 主催：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会
11月23日 (祝・火)	川島町農業商工祭 主催：川島町

4. 東京デザイン専門学校

- 2019・2020年度に引き続き、2021年度も東京デザイン専門学校（TDA）との連携活動を実施します。
- 2021年度の連携活動の内容は、2019・2020年度の経験を活かし、学校のニーズも踏まえ、今後、具体的な検討を行います。

2021年度の連携（決定事項）：

- ・2020年の取り組み後に「来年度もよろしくおねがいします」の旨、TDA担当者から、ご連絡をいただいています。
- ・講義の時期は、6月中旬～7月中旬の予定です。新型コロナウイルスの関係で、現地視察は難しいと伺っています。
- ・対象学生は、ビジュアルデザイン科3年生34名（2クラス）です。
- ・2020年度の履修後アンケートを踏まえ 課題制作の形態は、「グループワーク」とすることを提案しています。

2021年度の連携方針（案）：

○企画テーマ案

デザインによる問題解決/
デザインのかで「荒川太郎右衛門自然再生地」の価値を高める

○課題：2021年秋イベントの企画・運営デザイン

- ・学生を10グループ（各グループ4～5名）に分けて、グループ単位で下記の課題に取り組む
- ・イベント広報や環境学習アイテムの制作は、サイサン環境保全基金の助成を活用する予定

テーマ	内容
企画&運営計画	イベント企画、イベント準備、当日の運営計画
イベント広報	イベント告知のための広報（メディアは自由）
環境学習アイテムデザイン	イベントに活用する環境学習アイテムのデザイン

2021年度スケジュール（案）：

時期	内容
3月	次年度の連携提案【TDA・事務局】 ・TDAのスケジュールやニーズの確認
4～5月	講義準備
6月中旬	オリエンテーション
6月中旬～7月中旬	講義（70分×2コマ×全11回、週3回程度） ・2020年度：700分、2021年度：1,540分 ・事務局は、オリエンテーション、プレゼンテーション、表彰式に参加した。
7月中旬	成果発表プレゼンテーション
9月上旬	提案成果の評価、活用方法の検討【事務局】 表彰式贈呈
9～10月	秋イベント準備・本番（10月23日） ・TDA学生はボランティアスタッフとして参加予定

※詳細は、TDAと相談の上で決めていきます。

【参考】東京デザイン専門学校成果物の活用整理

2019年度成果

○体験型イベントとして活用（イベント実行委員会）

タイトル	企画概要	成果の活用方針	活用実績	備考
① 親子で楽しくエッグハント！ 草をむしって、たまご探しをしよう	中池での親子イベント「エッグハント」を企画。エッグハントでは、中池の外来種をむしりながら「たまご」を見つける。見つけたら「たまご」の中に入っている在来種のタネを植える。	草ぬきとあわせて、在来種の種を現地にまいたり、持ち帰って育てたり、季節ごとに親子で自然再生を楽しめる体験型イベントとして活用していく。 また、すでに実施している保全管理活動の際にも活用が見込まれる。	■ 2020年度 ・秋イベント：10月18日開催	定番イベントメニュー化
② 荒川太郎右衛門地区 自然再生地認知拡大 プロジェクト「クイズ&スタンプラリー」	複数地点（上池1、中池2、下池2）にクイズパネルとスタンプ台を設置することで、クイズに答えながらスタンプを集める。期間は、自由研究にも使えるよう、夏休み（8/8、9、10）を想定。	既存のウォーキングイベント等で親子で自然再生地を探索しながら環境学習にも繋がるイベントとして活用していく。また、WEBデザインについては、協議会のホームページの表紙として掲載する。	■ 2020年度 ・かわじま輪中の郷ウォーキング：中止 ・WEBデザイン：協議会HP・イベント告知チラシにデザイン採用 ■ 2021年度 ・4/29かわじまはるかぜウォーク（予定）	

○企業へのアプローチ（維持管理・環境管理専門委員会）

タイトル	企画概要	成果の活用方針	活用実績	備考
③ 荒川太郎右衛門自然再生地×TULLY'S COFFEEのコラボ企画	TULLY'S COFFEEベニバナウォーク桶川店とのコラボ企画を想定して、カフェブランディング及びそれらをメインとしたキャラクターデザイン・グッズデザインを製作。	自然環境にあまり興味がない方でも自然再生地を知って頂くとともに企業のイメージアップや地域振興にも貢献できる企画として活用していく。また、コラボ企画実現に向けてTULLY'S COFFEEの経営理念の一つでもある「地域社会に根ざしたコミュニティーカフェ」やあらたな自然環境への取り組みの一つとして本社に訪問し、企画を提案をアプローチしていく。	■ 2020年度 ・TULLY'S COFFEE本社を訪問 →アリオ上尾店（直営店）を紹介され、店内へポスター展示・チラシ設置協力を得た ■ 2021年度 ・TULLY'S COFFEEアリオ上尾店におけるポスター展示・チラシ設置（予定）	売上に係わるパッケージデザイン等のデザイン採用については、判断に時間を要す…とのこと
④ モスバーガーとのコラボプロジェクト「荒川KITCHEN」	モスバーガーとのコラボ企画を想定して、出張キッチンカーで外来種のブルーギルをハンバーガーとして販売するプロジェクト「荒川KITCHEN」を企画。	荒川における外来種について、食を通じて自然環境について広く知って頂き、さらに出張販売が可能のため、さまざまなニーズに応じた活用方法を検討していく。また、コラボ企画実現に向けてモスバーガーの経営理念でもある「人間貢献・社会貢献」の取り組みの一つとしてモスバーガー本社を訪問し、企画を提案をアプローチしていく。	■ 2020年度 ・モスバーガー本社に電話連絡&資料送付 → 本社拠点（品川区）以外は活動対象外という回答	

【参考】東京デザイン専門学校成果物の活用整理

2019年度成果

○環境学習ツールとして活用（維持管理・環境管理専門委員会）

タイトル	企画概要	成果の活用方針	活用実績/計画（案）	備考
⑤ 絵本「たろえものぼうけん」作成	「たろえもん」の冒険絵本「たろえものぼうけん」を製作。	環境学習のツールとして、小学生を対象とした絵本製本を行い、自然再生地で活動している小学校やイベント等で配布し、「たろえものぼうけん」を広めていく。さらには次回作も視野に入れて検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年度（活用実績なし） ■ 2021年度 予定なし 	製本・配布するためには内容改訂（絵の描き直し）が必要である
⑥ 荒川太郎右衛門いきもの図鑑と、一体型のすごろく「たろえもんすごろく」のリーフレット作成	イラストを多用したポスター広告とプロモーション映像を作成。作成したポスターやプロモーション映像は、大宮駅や川越駅などの駅構内の広告として掲示することを想定。	子供から大人まで幅広い層で活用が期待出来るツールとして、「裏面がすごろくになるリーフレット」制作し、イベント等で配布し、認知拡大と関心をもってもらおう。また、ボードゲームのアイデアや生き物のデザイン企画を採用し、ボードゲームのすごろくのコース設定やコメント、生き物のデザインの追加などを今後検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年度 <ul style="list-style-type: none"> ・つばさ北小学校（配布） ・桶川西高校科学部（提供） ・秋イベント：10月18日（配布） ■ 2021年度 <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントにおいて配布（予定） 	サイサン環境保全基金を活用してリーフレットを1500部、印刷した

○広報ツールとしての活用（イベント実行委員会）

タイトル	企画概要	成果の活用	活用実績/計画(案)	備考
⑦ キャラクターYouTuber作成	オリジナルキャラクターによる太郎右衛門自然再生地を紹介する動画を製作し、YouTubeにアップロードする。	自然再生地の魅力をオリジナルキャラクターによるSNSを使って、拡散させ、さらに現地に訪れて、探索してもらえるようにキャラクターYouTuberの活用による広報を展開していく。また、提案があったキャラクターを使って、あらたな動画作成等も検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年度（活用実績なし） ■ 2021年度 予定なし 	オリジナルキャラクターは東京デザイン専門学校から寄贈されている
⑧ 駅の広告作成 「もっと知ろう！荒川太郎右衛門地区自然再生地」	イラストを多用したポスター広告とプロモーション映像を作成。作成したポスターやプロモーション映像は、大宮駅や川越駅などの駅構内の広告として掲示することを想定。	自然再生の取り組みについて、不特定多数の方に知ってもらうために、駅を含めたさまざまな場所でのポスター広告を検討していく。また、プロモーション映像は、イベント等の広報ツールとしてスライドショーとして展示していく。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年度 <ul style="list-style-type: none"> ・上尾市環境パネル展：11月7日 ■ 2021年度 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体イベントに展示（予定） 	事務所広報費によりパネル印刷

【参考】東京デザイン専門学校成果物の活用整理

2020年度成果

【課題A：「中池」誘致の広告（看板デザイン）】

提案タイトル	概要	活用計画(案)	備考
中池のいきものたちを 見つけてみよう！	中池の生き物の生態系を紹介するデザイン	■ 2021年度 中池看板の背面に「中池」誘致看板を掲示する。 ・掲示方法：作品をポスターパネル印刷 ・掲示期間：1 作品 3ヶ月程度 4月～6月 中池のいきものたちを見つけてみよう！ 7月～9月 たろえもんの冒険（迷路） 10月～12月 子供向けカラフル看板デザイン	ポスターパネル印刷
たろえもんの冒険（迷路）	自然再生地の地図に迷路を描き、上池から中池にたどり着くもの		
子供向けのカラフル看板デザイン	子ども向けに視認性が高く、探しやすい生物の絵をデザイン		

【課題B：ニューノーマルなイベント企画】

提案タイトル	概要	活用計画(案)	備考
荒川の自然をスナップして コレクションするイベント企画	生きものや植物の「スナップショット」を撮影して、スクラップブックを作る企画	■ 2021年度 ・5月22日(土) 散策イベントに活用（予定）	スクラップブック制作が必要
たろえもんといきものスケッチ	昆虫などの希少な動植物を探してスケッチを描き、みんなで荒川の生きもの図鑑をコンプリートする企画	■ 2021年度 ・9月11日(土) 散策イベントに活用（予定）	スケッチブック制作が樞王
巨大すごろく	スマホのGPS機能と既存アプリを活用して、現地ですごろくをしながら自然再生地を体験する企画	■ 2021年度 ・1月15日(土) 散策イベントに活用（予定）	アプリの理解、マスを示す旗制作
「荒川 灯ろうまつり」 たろえもんを灯せ	組み立て式の灯ろうを事前に配布し、あらかじめ着色してもらったものを現地に設置して鑑賞する企画	■ 2021年度 ・イベントにおいて「灯籠キット」を配布（予定）	灯籠キット印刷

【課題C：プロモーションビデオ】

提案タイトル	概要	活用計画(案)	備考
荒川太郎右衛門地区を知ろう！	自然再生の事業や取り組みや動植物を紹介	■ 2020年度 ・協議会ホームページを2020年度中に更新予定 ・更新ホームページと、Youtubeにアップしたプロモーションビデオをリンクする	
Taroemon's Journal	ドローンの映像を使いながら生き物写真を連続的に紹介		
荒川太郎右衛門の紹介動画	ドローンの映像と写真を組み合わせて自然再生地を紹介		

5. 2021年のマーケットリサーチの方針

- 6つの主体と具体的な協働・連携を継続していただけるよう、協議をしていきます。
- 3月17日のS財団との協議結果を踏まえ、森林育成活動について、引き続き協議をしていきます。
- その他の主体にも、情報提供を継続していきます。

区分		主体	2021年度の予定	今後の予定	役割分担
協働・連携	学校関係	つばさ北小学校	・総合的な学習の時間での環境学習	・協働・連携の継続についての協議	環境学習 (学習する側として)
		桶川西高校	・イベントへの協力	・協働・連携の継続について協議	環境学習 (題材を提供する側として)
		東京デザイン専門学校	・2020年度の状況を踏まえて協議・調整	・成果物の活用方針の検討 ・協働・連携の継続についての協議	普及啓発 (プロモーション)
	NPO・民間企業等	タリーズコーヒー ジャパン株式会社	・近隣店舗でチラシ設置・ポスター掲示の協力	・協働・連携の継続について協議	普及啓発 (広報を実施する側として)
		本田航空株式会社	・年2回程度の中池広場の機械除草の実施 ・本田航空に見学を訪れる教育機関との連携・協働の可能性についての協議・調整	・協働・連携の継続について協議	維持管理 (保全管理活動として)
		S財団	・森林育成活動を予定	・協働・連携の継続について協議	維持管理 (保全管理活動として)
マーケットリサーチ	A高校	・イベントへの協力	・協働・連携の継続について協議	環境学習 (題材を提供する側として)	
	O市教育委員会	・学校教育における利活用の周知	・協働・連携の継続についての協議	情報発信 (利用する側として)	
	S研究会	・年2回(5月下旬・10月)の調査会開催に向けた協議・調整	・協働・連携の継続について協議	調査研究 (調査する側として)	

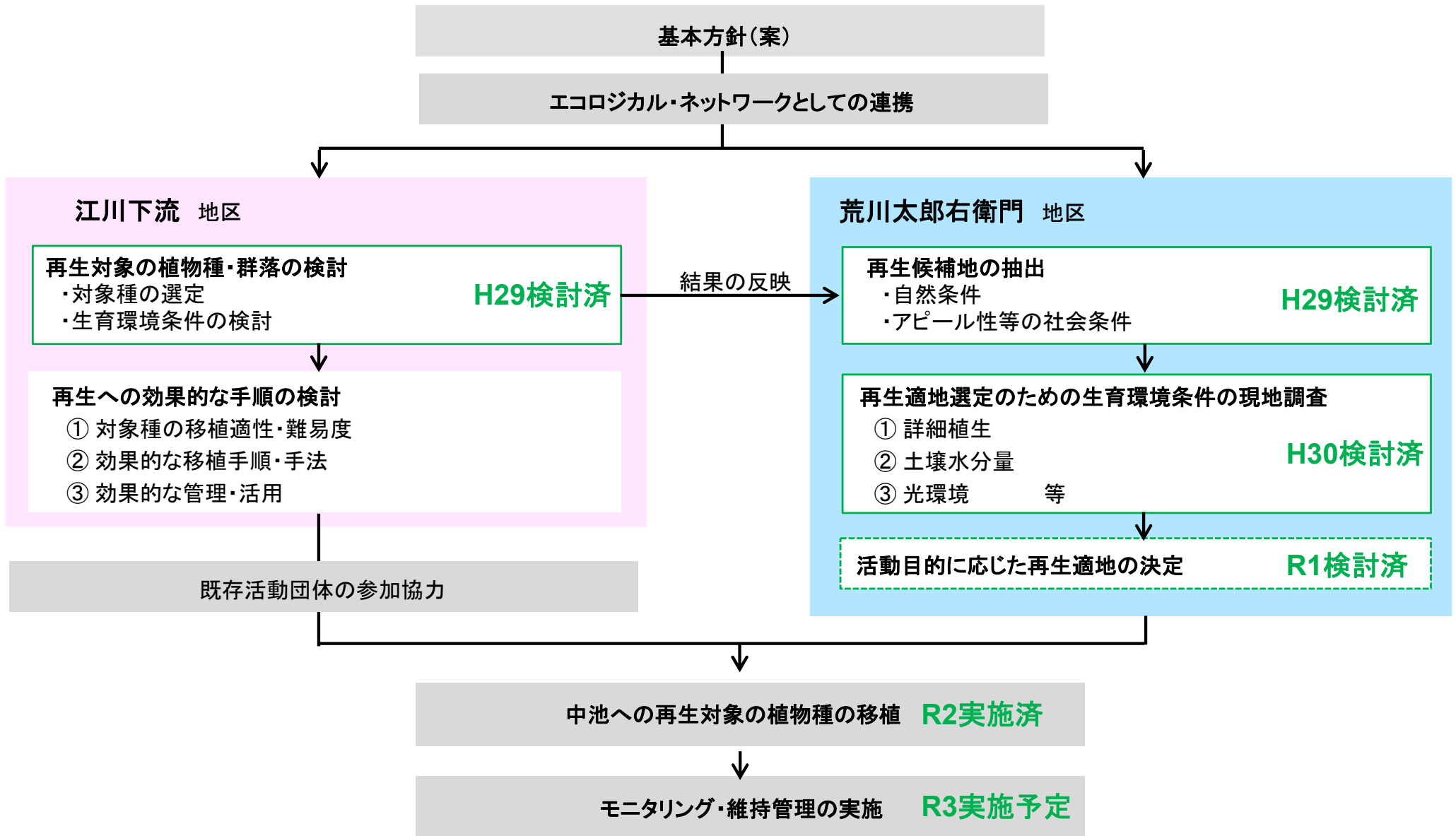
- エコプロ2021(2021年12月8日(水)~10日(金))を訪問し、引き続き協働・連携いただける主体を開拓していきます。
訪問日時(案):2021年12月9日(木) 10:00~ ※例年通り、開催2日目に参加することを提案します。

出典: <https://eco-pro.com/2020/>

6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動

1) 活動の経緯と予定 (案)

- 目的 ① 自然再生事業地の効果的なアピールを図るために「サクラソウ群落」の再生を目標とした活動を推進する
② 「江川下流地区」との連携によるエコロジカル・ネットワーク形成に向けた活動を推進する



6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動

2) 再生対象の植物種・群落の検討

- 再生対象の植物種の選定にあたっては、「サクラソウ群落」の構成種を基本としながら、荒川太郎右衛門地区のかつての原野植生を念頭に、希少性やアピール性にも留意しつつ、以下の計15種の候補種の選定を行いました。生育環境としては、水域～湿地を中心に、一部は草地環境の種も含まれています。【検討済み】
- 希少種も多く含まれることから、再生対象種ごとに、効果的な育成や移植の手順について検討を進めていきます。
- 2月24日に赤枠内の7種を中池サクラソウ移植地に移植しました。

No.	科名	種名	生育環境			花の色	環境省 レッド	埼玉県 レッド
			水域	湿地	草地			
1	スイレン	コウホネ	●			黄		NT
2	ミツガシワ	アサザ	●			黄	NT	VU
3	サクラソウ	ヌマトラノオ		●		白		NT
4	オトギリソウ	トモエソウ		●		黄		VU
5	トウダイグサ	ノウルシ		●		黄	NT	VU
6	キク	ホソバオグルマ		●		黄	VU	EN
7	サクラソウ	サクラソウ		●		ピンク	NT	CR
8	キョウチクトウ	チョウジソウ		●		淡い紫	NT	EN
9	アヤメ	ノハナショウブ		●		紫・紺		VU
10	ラン	ミズチドリ		●		白		CR
11	キキョウ	バアソブ		●		白と紫	VU	EN
12	ユリ	コオニユリ		●	●	赤		NT
13	ナデシコ	カワラナデシコ			●	ピンク		VU
14	サクラソウ	ノジトラノオ			●	白	VU	EN
15	ヒガンバナ	キツネノカミソリ			●	赤		NT

□: 2020年度移植対象

・環境省レッド・・・第4次環境省レッドリスト植物 I および II (環境省、2019)への掲載状況
 ・埼玉県レッド・・・再改訂・埼玉県レッドリスト2011植物編(埼玉県、2011)の掲載状況
 <レッドデータブックのカテゴリー区分>
 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧

6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動

3) 再生対象の植物種の概要

□: 2020年度移植対象

水域	湿地			草地
 <p>【1】 コウホネ 【県：準絶滅危惧】 水路、池沼などに生える多年草</p>	 <p>【3】 ヌマトランオ 【県：準絶滅危惧】 ヨシ原、河辺、畔など湿地に生育する多年草</p>	 <p>【4】 トモエソウ 【県：絶滅危惧Ⅱ類】 湿地、原野に生える多年草</p>	 <p>【5】 ノウルシ 【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧Ⅱ類】 湿地や原野に生える春型の多年草</p>	 <p>【13】 カワラナデシコ 【県：絶滅危惧Ⅱ類】 砂礫河原や貧栄養な草原に生育する多年草</p>
 <p>【2】 アサザ 【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧Ⅱ類】 湖沼やため池、緩い流れに生育する浮葉植物</p>	 <p>【6】 ホソバオグルマ 【国：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧ⅠB類】 自然性の高い湿地に生育する多年草</p>	 <p>【7】 サクラソウ 【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧ⅠA類】 湿地や原野に生える春型の多年草</p>	 <p>【8】 チョウジソウ 【国：準絶滅危惧、県：絶滅危惧ⅠB類】 河畔林、オギ原などに生育する多年草</p>	 <p>【14】 ノジトラノオ 【国：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧ⅠB類】 土手、やや湿り気のある草地などに生育する多年草</p>
 <p>【9】 ノハナショウブ 【県：絶滅危惧Ⅱ類】 湿った草原や湿原に生える多年草</p>	 <p>【10】 ミズチドリ 【県：絶滅危惧ⅠA類】 湿性草原に生育する多年草</p>	 <p>【11】 バアソブ 【国：絶滅危惧Ⅱ類、県：絶滅危惧ⅠB類】 湿地や原野に生えるつる性の多年草</p>	 <p>【12】 コオニユリ 【県：準絶滅危惧】 湿った草原に生える多年草</p>	 <p>【15】 キツネノカミソリ 【県：準絶滅危惧】 土手や樹林内などに生育する多年草</p>

6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動

4) サクラソウ群落の移植位置

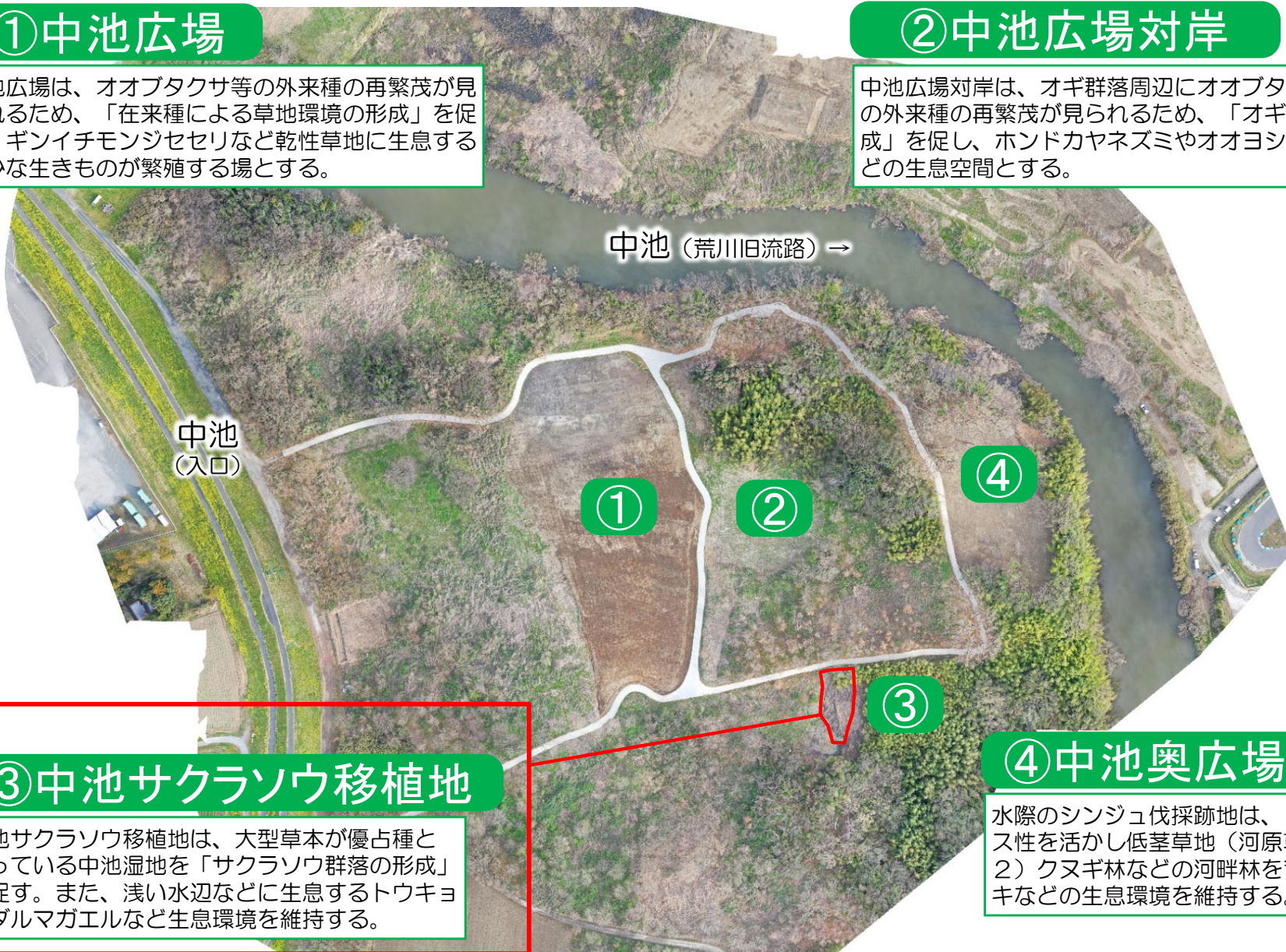
- 荒川流域のエコロジカル・ネットワーク形成において自然環境の核となる自然再生地の湿地環境を保全・再生する取り組みとして、中池の③中池サクラソウ移植地（下赤枠）において、サクラソウ群落の植物を移植しました。

①中池広場

中池広場は、オオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「在来種による草地環境の形成」を促し、ギンイチモンジセセリなど乾性草地に生息する希少な生きものが繁殖する場とする。

②中池広場対岸

中池広場対岸は、オギ群落周辺にオオブタクサ等の外来種の再繁茂が見られるため、「オギ原の形成」を促し、ホンドカヤネズミやオオヨシキリなどの生息空間とする。



③中池サクラソウ移植地

中池サクラソウ移植地は、大型草本が優占種となっている中池湿地を「サクラソウ群落の形成」を促す。また、浅い水辺などに生息するトウキョウダルマガエルなど生息環境を維持する。

④中池奥広場

水際のシンジュ伐採跡地は、1) 水辺へのアクセス性を活かし低茎草地（河原草地）の育成、また、2) クヌギ林などの河畔林を育成し、オオムラサキなどの生息環境を維持する。

6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動

5) サクラソウ群落の移植状況（2月24日現在）

非表示

6. 荒川太郎右衛門地区エコネット形成活動

6) 今後のサクラソウ群落の植生管理（案）について

- 荒川の草花を育てようプロジェクトに参加中の川島町立つばさ北小学校に連続して関わってもらえるよう、次年度以降の移植活動への協力を依頼中です。
- 第41回維持管理・環境管理委員会で委員より、「サクラソウ群落の取組は4-5年間程度の継続が必要」という意見が挙げられたことを踏まえ、長期的な視点での植生管理計画を検討する必要があります。

		2021年度	2022年度	環境整備事業終了	2023年度	2024年度	2025年度
①モニタリング調査		事務局で実施			協議会及び連携・協働（市民・学校・企業・セミプロ等）の検討		
②外来植物の駆除		協議会で実施					
③除草		協議会で実施					
④株の調達・管理	④-1 株の採集	事務局で実施			連携・協働（例：桶川西高校・つばさ北小学校、企業等）の検討		
	④-2 種子の採集・播種	事務局で実施					
	④-3 株の育苗	事務局で実施					

※「事務局で実施」は、サクラソウ育苗のマニュアルを作る目的などで実施

- ①モニタリング調査 : 生育株数及び開花株数の調査を実施します。毎年、植物の開花時期（4～8月）に実施します。
- ②外来植物の駆除 : 移植地周辺の外来植物の駆除を4～10月の間、月1回程度の頻度で実施します。
- ③除草 : 翌春の日照条件確保のため、地上部が枯れた後の地表面の除草を11月～1月の間、月1回程度の頻度で実施します。
- ④-1 株の採集・移植 : 荒川流域の株採集の許可が得られれば、株の採集と移植を実施します。
- ④-2 種子の採集・播種 : 荒川流域の株から種子の許可が得られれば、種子の採集を行います。イベント等での播種等について検討します。
- ④-5 株の育苗 : ④-1・2で得られた株の育苗を行います。育てた株はイベント等での移植について検討します。